

..... 編集後記

◆ 今月号は特集「HLW地層処分とコロイド研究」の原稿15編と個人投稿原稿6編です。HLW(高レベル放射性廃棄物)の地層処分に関しては、検討すべき課題が種々ありますが、コロイド粒子が核種移行に及ぼす影響もその一つです。すでに地層処分の概要調査地域選定の公募が原子力発電環境整備機構によって行われています。個人投稿原稿は国内外の会議に関するもの3件とシリーズものの3件です。

◆ 特集では、最初に金井 豊さん・鈴木正哉さんがねらいと全体概要を紹介しています。吉田崇宏さんは核種移行の観点から本研究の必要性を解説しています。金井さんはコロイドとは何かについてその特質と種類について全般的な解説しています。具体的な解説は、無機コロイドに関しては鈴木さんが、有機コロイドに関しては吉田さんが、微生物コロイドに関しては須甲武志さんが、それぞれ行っています。次いで金井さんは野外での試料採取方法、観察・分離方法、分析で配慮すべき事項を解説しています。鈴木さんはコロイドの安定性に関わる分散・凝集の研究例を紹介しています。金井さんは地下水中で起こると想定される核種とコロイドの反応・挙動に関して、モデルを図示しています。上岡 晃さんは放射性廃棄物と類似した挙動を示す希土類元素を例にして、新潟県北東部の河川調査結果を踏まえてコロイドの核種吸着性を解説しています。須甲さんは山形県小国町で河川微生物調査を行い、ウラン濃度の高いバイオフィームを見出し、その成因を考察しています。吉田さんはコロイドが金属イオンの移行に及ぼす影響を調べるために実施したカラム実験について報告しています。鈴木さんは含水アルミニウム珪酸塩コロイドの合成実験結果について報告しています。最後に、金

井さんは天然バリアーの性能評価のために必要となるコロイド関係の研究課題をまとめています。

◆ 下司信夫さんほかは、インドネシア・バンドンで開催された火山災害軽減のためのワークショップとクラカタウ火山の巡検の様子を紹介しています。特に多数の岩脈や津波石は大変興味深い記述です。表紙、口絵と併せてご覧ください。

◆ 高橋裕平さんは宮城県で開催された震災対策技術展を紹介しています。宮城県沖地震が高い確率で予測される中で、震災対策が真剣に取り組みられています。また、歴史的な津波記録に関わる史跡も興味深いものです。

◆ 角 哲也さんは土木学会水工学委員会環境水理部会WG主催のシンポジウム「貯水池土砂管理の現状と将来」について紹介しています。ここでは土砂が海岸・沿岸域に届かなくなっているために生じている環境問題やその対策について議論されています。

◆ 高橋裕平さんはシリーズ「地質分野2006年秋の話題-英文ニュース誌から拾う-」のなかで、「宇宙への挑戦」、「石炭の将来性」、「中国の大規模ダムが気候を変える」等について紹介しています。

◆ 加藤碩一さんはシリーズ「みちのく石便り(その6)」として、三陸海岸浜街道の6箇所の地質露頭や奇岩それに因む話を紹介しています。旅行記ですので、気楽にお読みください。

◆ 中川 充さんはシリーズ地質調査のパートナー(3)としてルーベを解説しています。地質調査にとってはハンマーと同じくらい重要な調査用具です。

◆ 4月号は特集「生物鉱化作用と地球環境」を予定しています。ご期待ください。(玉生志郎)

地質ニュース編集委員会

委員長：玉生志郎

副委員長：吉田朋弘

委員：高木哲一・丸山 正・七山 太・

光畑裕司・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース	第631号	2007年	3月号
	定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費		
2007年3月1日	発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952		
	http://www.jitsugyo-koho.co.jp		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		



表紙右下のロゴについて：地質調査総合センターは、国際惑星地球年 (IYPE) に賛同し、活動を支援しています。

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

●地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

© 2007 Geological Survey of Japan